

平成29年度全体事業・活動報告

実施日：平成29年4月1日～平成30年3月31日

		内 容	人数	主 催
4	10	ユーコープ本部との打ち合わせ（フードバンクの件）	3	コープ
	19	全国社会福祉協議会より取材「月刊福祉」会の活動	3	
	23	伊勢原市身体障害者福祉協会総会出席	1	身障
	26	ユーコープ物品贈呈式	3	コープ
5	1	監査	5	当会
	7	伊勢原ひとり親福祉協会総会出席	1	ひとり親
	11	伊勢原・福祉のまちづくりを進める会<第1回定例会&総会>	2	進める会
	24	いせはら災害ボランティア連絡協議会	2	いせボラ
	25	社会福祉協議会「小地域活動報告会」	2	社協
	26	伊勢原市ボランティア連絡協議会<第32回通常総会>	4	ボラ協
	28	地域福祉を考える会第13回総会（出席44, 委任状出席37）		当会
6	1	向上高校スポーツ大会（みんなの店）ボランティア	6	向上高校
7	5	法務局（辻堂）書類手続き	1	当会
8	1	社協第1回情報交換会	2	社協
	19	みどり園夏祭り協力	2	
9	23	伊勢原市障害者スポーツ大会	4	市
10	4	医療法人よつ葉会 ゆめの森歯科寄付受領	2	
	8	Bigbang～いせはら2017 協力（子ども支援募金箱設置）	4	谷山ジム
	11	赤い羽根街頭募金協力	3	社協
	13	第50回道灌まつり模擬店準備	5	
	14・15	第50回伊勢原観光道灌まつり<模擬店出店>	40	市
	21	公開講座「任意後見制度について」講師 東 啓二	30	当会
	28	研修会「脳と心～その研究の行方」 理事長 宮森孝史	24	当会
	8	伊勢原ロータリークラブ定例会「子ども支援事業について」	1	ロータリー
11	8	ボラ協「研修バス旅行」千葉方面	8	ボラ協
	15	駅周辺クリーンキャンペーン	4	ボラ協
	18・19	サボセンフェスタ（パネル展示）	4	サボセン
	18・19	第42回農業まつり参加	20	農協
	21	大井町社協視察受け入れ「住民型参加」について	8	
12	8・11	助け合い募金活動	4	社協
1	16	伊勢原市社会福祉協議会会長表彰式	3	社協
	19	市、福祉展協力	3	市
2	8	社協第2回情報交換会	2	社協
	13	伊勢原ひかりライオンズ定例会「子ども支援事業について」	1	ひかりライオンズ
	18	カナフルTV「広がる子ども支援の輪」放映		神奈川県
	21	こども学習支援「わかばサポートクラブ」見学	2	市

<その他の活動>

◇三役会議 1回 (11/14)

◇理事会 1回 (5/13)

◇伊勢原市ボランティア連絡協議会運営役員会：毎月第2火曜日 計12回

◇サポセンフェスタ実行委員会：2回 (9/4, 10/6)

◇市民活動サポートセンター協議会：6回 (4/27, 6/27, 10/6, 10/24, 1/26, 3/22)

◇第42回道灌まつり打ち合わせ会：2回 第42回農業まつり会議：4回

◇伊勢原市社会福祉協議会 登録団体調整会：2回

◇伊勢原市男女共同推進委員会議 6回

◇市、生活福祉課・子ども部こども支援課職員と学習支援についての話し合い：6回

◇人を対象とする味研究開発及び実証試験に関する倫理審査会：4回

◇ニュース発行 (6, 8, 10, 1, 3月) 計5回

未来セミナー「読書会」

<活動方針>

地域での暮らしや地域福祉のベースになる様々な社会動向を読書を通じ
いろいろな立場から考え合う場所としての読書会です。

活動場所：シティプラザ1階社協会議室



{内容}	{参加者}
第1回 6/10 (土)・・・29年度の進め方・ミニ講話(宮森孝史理事長)	112名
第2回 7/22 (土)・・・「女の機嫌の直し方」黒川 伊保子 著	12名
第3回 8/26 (土)・・・「星の王子様」サン・テグジュペリ」著	15名
第4回 10/28(土) 研修会「脳と心～その研究の行方」講師 当会理事長	25名
第5回 12/16(土)・・・「ホスピスが自宅で夫を看取るとき」玉地任子著	13名

☆宮森孝史アドバイザーの協力で4冊の本と研修会をもとに意見交換をし、共に考える時間を共有できました。

未来セミナー2「けんこうつなぐうたごえ」

・・・心身ともにいきいきと過ごしたい方・・・

童謡・昭和の歌謡をみんなで唄い・パタカラ体操や笑うヨガ等で体を動かし楽しいひと時を共有することができました。

活動場所： いせはらシティプラザ・いせはら市民活動サポートセンター

時間： 10時30分～12時(月1回)

参加費： 300円

開催数： 5回

参加数： 10/7(88名)、11/4(70名)、12/2(58名)、1/13(50名)、 2/3(59名)

指導者： 古川 恵子 氏



平成29年度 友愛電話活動報告

29年度も一人暮らしの方や日中独居で話し相手がない方等に、社会福祉協議会の協力を得て電話サービスを実施した。

1 活動日 ①月曜日午前・②月曜日午後・③木曜日午後

2 利用者の実人員

29年 4月 19名

30年 3月 17名

※年度内新規5名、死亡0名、入院2名 中止3名、休止中2名

休止：本人と話し合い、しばらくお休みにした。

<電話活動状況>

月	実人員	月曜日午前		月曜日午後		木曜日 午後		ホウ延数
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
4	19	4	32	4	29	4	17	28
5	18	5	39	4	28	3	9	35
6	18	4	32	4	21	4	13	35
7	17	4	32	4	28	4	7	33
8	17	3	24	3	21	4	8	26
9	18	3	18	3	21	4	10	26
10	15	4	25	4	25	3	9	29
11	15	4	24	4	23	3	9	30
12	16	4	24	4	24	3	11	29
1	18	3	20	3	21	3	12	23
2	18	3	21	3	21	4	14	20
3	17	4	27	4	29	4	12	31
計		45	318	44	291	43	131	345

※ 活動日に利用者が通院や外出、入院等がわかっている方には電話をしなかった。

※ 利用申し込みがあったが、本人の希望により保留となっている人がいる 1名

3. コーディネーター会議

6/16 10/19 11/20 H 30.1/30 ..

4. 現任研修会 7/25 参加者23名(新規11名)

(内容)

副理事長 勝田俊一

精神疾患を持つ方への電話対応

5. 初級電話講習会開催5/15 参加者21名(新規11名)

6 利用者に暑中見舞、年賀状を出した。皆さんに喜ばれた。

7 利用者を増やすために市や社会福祉協議会に協力を依頼した。

○ 伊勢原市民生委員児童協議会会議にて(7地区)友愛電話について話をした

○ 市内のお店数か所にチラシを掲示してもらった

8 ニュースレターに友愛電話利用者2名の方にコメントを書いてもらいました。

9. ボランティア登録者数 26名(30年3月現在)

平成29年度 子育てひろば「きらきら」活動報告

<活動方針>

お母さんとお子さんが、共にゆったりとした雰囲気の中でおしゃべりしたり、子育て中の悩み等を共有し、子育て中のお母さんの息抜きができるようなひろば

<男女年齢別・全体数>

月	男子					女子					子供数	保護者	サポーター	全体数
	0才	1才	2才	3~5	計	0才	1才	2才	3~5	計				
4	2	1	6	3	12	2	2	8	0	12	24	21	21	66
5	2	0	3	3	8	2	2	2	0	6	14	12	17	43
6	0	0	1	1	2	1	0	2	0	3	5	4	10	19
7	2	4	3	4	13	4	3	1	6	14	27	25	22	74
8	4	5	5	9	23	1	1	3	9	14	37	28	18	83
9	1	5	3	2	11	0	3	3	1	7	18	15	21	54
10	2	4	3	1	10	1	2	2	2	7	17	16	12	45
11	0	3	0	2	5	0	5	2	2	9	14	13	15	42
12	0	5	0	3	8	1	7	2	0	10	18	18	20	56
1	4	6	0	8	18	0	3	1	2	6	24	21	10	55
2	1	2	1	2	6	0	4	1	0	5	11	11	8	30
3	1	8	0	7	18	0	0	5	13	17	33	25	20	78
計	19	43	25	45	134	12	32	32	35	111	242	209	194	645

◇開設日：平成17年7月

◇活動日：火・木曜日（AM10:00~12:00）◇シティプラザふれあいホール

◇活動数：火曜日23回・木曜日18回（計41回） ☆28年度44回（410名）

◇サポーター調整会議 3回

◇リフレッシュ、すこやか体操/ヨガ 毎月1回

◇12月クリスマス・サンタづくり・3月折り紙でお雛様づくり

◇ひろば終了後、希望者だけ残りお昼ランチをする。（7回）

◆外部ボランティア協力

○おはなしバルーン 年2回、紙芝居・わらべ歌・手遊び

○もぐら座 年1回（12/12）、人形劇・紙芝居等

○生協ユークープ 年2回（8/22, 2/4）、おやつを選び方・試食

○ヨガ体操（山戸 浩子さん）

◇子育てサポーター 登録13名（30年3月現在）

◇市社協 小地域活動推進事業助成金（子ども傷害保険・講師謝礼・会場代・消耗品購入等）

◇市子ども部子育て支援課共催事業

平成29年度 成年後見部会 活動報告

障害があっても高齢になっても、住み慣れた地域で暮らし続けたいとは誰もが望むことです。この思いを実現するため、権利擁護と幸せの実現を目的とする成年後見制度が欠かせない仕組みの一つとなっています。

こうした状況の下、成年後見部会は伊勢原市や近隣の地域で信頼される法人後見人を目指し、将来想定されるニーズに適切に応えられる事務局体制の充実・強化に取り組みました。

新たに後見業務を専門的に担当する事務職員を採用し、2名体制として引き続き事務の効率化や合理化に取り組んでいます。

1. 受任の状況

平成18年度に5名受任し、その後、現在（30年3月現在）17名を受任しています。内訳は、後見7名、保佐9名、任意1名です。

平成29年度は、新規受任はありませんでした。

(1) 年代別 (30年3月現在)	(2) 性別
20代～30代 5人	女性 9人、男性 8人
40代～50代 7人	
60代 1人	
70代 4人	

2. 担当者の状況 (30年3月現在)

会員後見人 14人 事務局 (事務局職員 2人)

3. 活動内容

(1) 身上監護

毎月最低1回のご本人及び関係施設等担当者との面談。家族会、個別支援計画及び面談等への参加。各種事案に関する各手続き、話し合い等。施設行事への参加。GH入居契約、住所変更に伴う手続き。医療契約、受診の付き添い。

(2) 財産管理

ご本人からの個別相談対応。銀行口座の開設・変更手続。預貯金の入出金管理、日常生活費（小遣い含む）の管理、公共料金の支払い。本人名義の土地家屋の処分に関する各種の手続き。市町村への報告事務、助成金申請。家庭裁判所への報酬付与申立書（定期報告）。

(3) 公開講座の開催

「任意後見制度について」 10月21日 講師：東京大学大学院教育学研究科 地域後見推進プロジェクト 特任専門員 東 啓二氏 をお招きし、公開講座を開催いたしました。

(4) 相談業務・ミニ説明会

・相談業務

成年後見制度利用開始に伴う、相談

相談受付：5件（述べ相談数：18回）

・ミニ説明会

「成年後見制度について」

開催件数：3件

(5) その他

伊勢原市社会福祉協議会が主催する成年後見・権利擁護サポート連絡会、行政・社協地域福祉推進担当者連絡会への参加。月次定例会、事例検討の実施、各種打合せ等。

4 かながわ NPO 法人後見連絡会への参加

「かながわNPO法人後見連絡会」は、平成23年9月から成年後見制度の普及促進を図るため、神奈川県社会福祉協議会が主催し、現在、当法人以外に法人後見業務を実施している9団体が参加して、後見業務などについての情報交換や事例検討等を行い、情報の共有化などの技術向上などに努めています。

よこはま成年後見つばさ（横浜市保土ヶ谷区）
かわさき障がい者権利擁護センター（川崎市川崎区）
湘南鎌倉後見センターやすらぎ（鎌倉市）
湘南ふくしネットワークオンブズマン（茅ヶ崎市）
成年後見湘南（平塚市）
ジョイサポート（座間市）
総合福祉サポートセンターはだの（秦野市）
成年後見センターかけはし
NPO成年後見 横浜やまびこ

5 29年度の事業

(1) 職員後見人の雇用

平成29年3月1日付で非常勤職員1人を雇用（週3日勤務）しました。職員後見人の業務としては、営業活動や相談業務、会員後見人活動の支援活動等を行いました。

(2) 会員後見人研修会の開催

- ①29年度は会員後見人のスキルアップを目的に、部会長を中心に講師として内部研修を中心に月例で研修を実施しています。
- ②外部講師による研修も都度、実施しております。

(3) その他

平成29年度は被後見人に特別大きな出来事はありませんでしたが、介護保険施設(老人保健施設)に入所されていた方が、その後回復され、障害者施設へ戻られたり、婦人科領域の疾病から手術の施行等、心身の変化が見られました。

また、被後見人の若い方々では、グループホームから一人暮らしにチャレンジを始めた方（男女数名）や車の免許を取得した方、就職をした方など、多くの方の自立に寄り添いました。

平成 29 年度 児童コミュニティクラブ活動報告

今年度も児コミを利用している子ども達が、異年齢児の集団の中で健康で明るく楽しく過ごせるように、常に安全で安心な環境を整え、児童の健全な育成と福祉を心がけました。

- 伊勢原 1、伊勢原 2、比々多 1、比々多 2 の 4 児コミの運営を行いました。
- 29 年度の利用児童数 223 名（29 年 4 月 1 日現在）でした。

	伊勢原 1	伊勢原 2	比々多 1	比々多 2	計
支援員数	10	5	7	5	27 名
児童定員数	80	40	80	50	250 名
29 年 4 月 1 日	72	38	73	50	223 名
30 年 3 月 31 日	69	31	64	39	203 名

29 年度児童の活動

放課後の日課に基づく活動の中で、毎月の誕生会、学期末のお楽しみ会と季節感漂う伝承行事（夏祭り、七夕さま、スイカ割り、ハロウィン、月見、初詣、ひな祭りなど）、編み物、読書、茶道体験、卓球、将棋。

3 月には送迎バスを利用してボーリング場に（2 児コミ）、徒歩で地元のボーリング場に（2 児コミ）。

その他 ボランティアによる、マジック、ともだち座公演、本の読み聞かせ・俳句など各々の児コミ毎に活動。定期的に避難訓練、公園清掃等も実施。

その他

- ◆ 保護者会 7 月 7 日、運営委員会 6 月 22/23 日
入所説明会 3 月 23 日行う。
- ◆ 支援員の意向調査を 1 月に実施。
- ◆ 支援員の健康を実施。
- ◆ 長期休みには就労支援（子育て支援）の一環として、昼食（注文弁当の他夏休みにはサンドイッチ等を取り入れた。）
- ◆ おやつに、市内のパン屋さんの協力を得て、週 2 回手づくりパンを導入。
- ◆ 児童の安全の確認の為に、ヒヤリハット（ヒヤッとしたり、ハッとした児童の動き）の記録を日誌に記入した。
- ◆ いせはら未来っ子クラブ（市放課後子ども教室）との交流
(12/13・2/21) 計 2 回

□ 4 児コミを運営するようになって、11 年が経過しました。

学校・保育園の皆様のご支援と従事する支援員の工夫や努力により、児童が楽しく豊かな生活体験が出来る場所になるよう努めました。

地域から子どもたちの声が騒音に聞こえて生活に支障をきたしているとの苦情もありますが、遊び時間の工夫などして支援員さんは努力しています。

平成 29 年度 児童コミュニティクラブ会議・活動まとめ

平成 30 年 3 月 31 日

	活 動	実 施 日 な ど	集 計
1	ミーティング *予定 各月2回	伊勢原1 22回 伊勢原2 21回 比々多1 16回 比々多2 20回	79回
2	代表会議 *◎記は市の会議	3/13・6/7・1/19・2/16 (ミニ代表者会議) ◎5/18・◎7/14・◎11/17・◎3/8	8回
3	学校などとの連絡会	4/14 (伊勢原小校長/教頭挨拶) 5/9 (比々多小学校校長挨拶)	
4	運営委員会	伊勢原学区 (伊勢原1、2) 6/23 比々多学区 (比々多1、2) 6/22	2回
5	保護者会	伊勢原1 7/7 伊勢原2 7/7 比々多1 7/7 比々多2 7/7	4回
6	入所説明会	伊勢原1 3/23 伊勢原2 3/23 比々多1 3/23 比々多2 3/23	4回
7	全体支援員研修会	実施しなかった	
8	ボランティア受け入れ *校外課外活動など	太鼓愛好会(6)・ともだち座(2)読み聞かせ他(1) マジック2団体(5)・俳句(1)・陶芸教室(2)・ 子ども科学館(3)	21名
9	支援員健康診断実施	11月	32名
10	支援員応募者面談	5月1名(1)、6月3名(3)、7月2名(2)、 11月9名(4)、3月6名(3)	採用 13名
11	その他	各児コミ 外出行事・室内行事 避難訓練に参加 4児コミ 長期休みに注文弁当を実施 支援員の意向調査実施 1月	

1、趣旨

相対的貧困率は悪化しつづけており、2014年の厚生労働省の発表によると、16.3%であることが明らかになりました。教育格差、貧困の連鎖が広がっています。生活保護を受けている、もしくは、年収が生活保護費とかわらないワーキングプアの家庭で育つ子どもが、6人に1人いるのです。地域の子どもの、地域が見守り、学びや暮らしを有機的に支えるネットワークをつくり、子どもの未来を明るく変えていきたいと願っています。

現在、子供の6人に1人は貧困家庭にあると言われています。家計が苦しくて十分な食事がとれない子。家庭の事情で夕食は一人、コンビニ弁当やインスタントもので済ませてしまう子。心と体を育むはずの「食」が揺らいでいます。こうした状況の中、食の面から子どもに支援しようと立ち上げました。

- ◇初回開催：平成28年6月23日
- ◇料 金：大人300円、
こども（高校生まで）100円
- ◇場 所：だいろく来るりんコミュニティ広場

<活動報告>

子どもを中心に、みんなでご飯を提供し一人ひとりが「人との繋がり」コミュニティの場として約2年を迎えます。県外や地域の方々のご支援ご協力のお陰です。スタッフ全員がボランティアで調理後、子どもや高齢者の話し相手になったり、若い世代の母親の相談だったり、相席になった人との会話を楽しんだり、利用者になくはない場所として愛されつつあります。

- ◇開催数：23回(火・木曜日)月2回
 - ◇スタッフ登録：20名（延405名）
 - ◇食材提供者：(延150件)
 - ◇ボランティア受け入れ：20件
 - ◇取 材：6件
 - ◇献立打ち合わせ会議：15回
 - ◇スタッフ交流会 1月6日(土)参加者25名
- <協力>

- ☆生活協同組合ユークoop 月2回フードバンク
- ☆5/20 神奈川高齢者生活組合ニュース掲載
- ☆6/30 タウンニュース掲載
- ☆12月伊勢原市農業委員会70号たよりに掲載
- ☆伊勢原ロータリークラブ受領
- ☆伊勢原ひかりライオンズクラブ受領

<利用数>

月日	大人	こども	計
4/11	25	8	33
4/27	40	22	62
5/9	46	29	75
5/25	50	27	77
6/6	52	24	76
6/22	75	43	118
7/4	48	18	66
7/20	53	28	81
8/1	42	34	76
8/24	43	31	74
9/5	49	33	82
9/21	48	30	78
10/3	57	35	92
10/26	47	30	77
11/7	46	36	82
11/30	54	36	90
12/4	67	41	108
1/9	38	16	54
1/25	42	29	71
2/6	60	31	91
2/22	56	41	97
3/6	50	27	77
3/22	54	46	100
23回	1,142	695	1,837

子育て支援事業（2）

学習サポートいせはら みらい・つなぐ

◇事業の主旨

経済的に困窮している家庭の子どもたちに、低額で学校教育外の学習支援、子どもたちが将来に希望をもてるよう支援を届けたいと願っています。

◇目的：

学習支援サポート事業は「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱として進めたい

○「学習支援」では元教員・一般・学生ボランティア等の支援によりその子どもに寄り添いながら効果的な学習支援をしていく。

○「子どもの居場所」では、学習支援だけではなく、居心地のよい雰囲気づくりを行う。

○「保護者相談」では、保護者に対して、継続的な相談支援を実施し、状況に応じて他の専門機関への紹介を行う。

◇初開講日：平成28年9月7日

◇学年：小学5、6年生・中学生

◇形態：個別・グループ指導

◇実施場所：いせはら市民活動
サポートセンター

◇実施日：週2回（水、金）

◇教材費：500円

	回数	小5	小6	中1	中2	中3	高1	参加者数
4月	8	31(5)	7(1)	12(3)	0	34(6)	6(1)	90
5月	7	26(5)	7(1)	12(3)	0	27(6)	6(1)	78
6月	8	25(5)	6(1)	16(3)	0	36(5)	8(1)	91
7月	8	22(5)	7(1)	9(3)	2(1)	34(5)	8(1)	82
8月	7	14(5)	4(1)	10(3)	6(1)	35(8)	6(1)	75
9月	9	31(5)	7(1)	25(4)	3(1)	61(8)	9(1)	136
10月	7	28(6)	11(2)	28(5)	6(2)	62(11)	6(1)	141
11月	7	28(6)	13(2)	30(5)	10(2)	68(11)	7(1)	156
12月	7	28(6)	11(2)	26(5)	9(2)	74(12)	6(1)	154
1月	7	24(6)	10(2)	24(5)	10(3)	58(12)	7(1)	133
2月	8	26(6)	7(2)	32(5)	10(3)	41(12)	8(1)	124
3月	8	23(6)	6(2)	31(6)	8(3)	28(12)	6(1)	102
回数	91	306	96	255	64	558	83	1362

<活動報告>

参加者一人ひとりの状況に合わせた個別支援を実施し、基本的な学力を身につけるとともに、自分の居場所を実感できるよう配慮した。進学面では受講生 28 名中、中学3年生(12名)すべて高校に進学した。

◇サポーター：元教員(6名)、一般(3名)、大学生(13名)

◇開設数：91回（サポーター延べ数358名）

◇進学：私立高校1名・県立高校10名・定時制高1名

◇相談他：15件

◇見学：5件

1. 4/5 東海大学伊勢原キャンパスより文具寄付(東海大学新聞掲載)

2. 5月 東海大学自己研鑽奨学金より教科書・参考書が寄贈される

3. 12/22 クリスマス会 50名(児童生徒・保護者・サポーター)

4. 1/31、2/2 神奈川県「広がる子ども支援の輪～こどもみらいスマイル」取材

5. 2/28 カナフルTV「広がる子ども支援の輪～こどもみらいスマイル」テレビ放映

6. 3/30 中学・高校進学おめでとう 祝う会(会食・球技大会)56名

☆比々多小学校自習教室を支援(11/15～毎週水曜日)

家庭での学習習慣が身につけていない児童が多く、家庭に多くを求められない現状があるため。

☆「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」団体登録加入

(毎月11日の黄色いレシートを募金箱に入れ総額の1%が換金される)